



こんにちは

# 白子の議会

です

第103号

平成24年2月15日

編集発行

白子町議会

☎0475(33)2169



豆まき（白湍保育所）

## 第4回定例会

平成23年第4回定例会が12月13日から12月15日まで開催されました。  
一般質問は、3名の議員が町政を質しました。

一 般 質 問 .....2～4ページ

各常任委員会構成.....5ページ

補正予算質疑応答.....6ページ

# 一般質問 町政をきく

## 防災対策について

板倉正道議員

### 避難所の整備は

議員 去る三月十一日発生しました巨大地震、津波災害は幸いにも我が町において、大した被害も無く通り過ぎましたが、多くの課題を残したのも事実です。

それらを踏まえ十月三十日防災訓練が行なわれましたが、どの様な検証がされたのか成果と課題を伺います。

### 三つの点を基本に

町長 東日本大震災では多くの反省点がありました。避難所や一時避難所の周知不足、避難所における職員の対応の問題、緊急放送に対しての課題等、今回の訓練は三つの点を基本に実施いたしました。

課題については津波に対する判断の難しさも求めますので訓練で完璧さを求めるのは不可能です。

たします。

### 海岸線からの距離と標高の地点設置を

議員 海岸線からの距離と標高の地点設置は必要と思いますが、どのように作成、設置するのか伺います。

### 設置の是非については議論の余地あり

町長 海岸線からの距離と標高の地点設置は必要と思いますが、現状では各市町村のデザインがバラバラなので県内で統一した表示板、標識を県に要請しました。設置の是非については議論の余地はあると思います。

### 自治防災組織のあり方進め方について

議員 自治防災のあり方



砂の嵩上げ

進め方についてはどのように考えているのか伺います。  
強く呼びかけて結成を促していきたい

町長 七、八年前から呼びかけておりますが、現実として組織の立ち上げは難しい。  
町民の生命財産を守る観点から呼びかけを強くし結成を促して行きます。

## 住宅リフォーム助成制度予算化を

市川隆子議員

**議員** 町の建設業者や関連する業者は、まだ仕事が少ない状況が続いています。

地域の仕事は地元の業者にと、補助が確実に地域経済の活性化に結びついていると実施した自治体で実感しているそうです。

町は、この制度を新年度予算で具体化するのはいかがでしょうか。

## 来年度から予算化

**町長** 実施している自治体を調査した結果、来年度から耐震診断、改修と合わせてリフォーム事業を展開していきたいと思っています。

それに加えて、町単独でガス配管の増設への支援、太陽光発電も国の事業に乗せられれば、と思っています。



## 国保税の引き下げを

**議員** 昨年実施したアンケート調査で国保税が高いという声がありました。国保税が高い最大の要因は国の補助金削減です。平均所得の低い世帯で重い保険税負担により、やがては未納、滞納につながっていくと考えられます。

国保の財調が一億円を超えています。この一部を使って引き下げをする考えがあるか伺います。

## 引き下げ決算状況で

**町長** 国の支援の引き上げは毎年町村会で要請していますが、今後も続けていきます。

国保税の引き下げは、医療費が十一月実績でやや上昇しているため決算状況を見ながら判断したいと思っています。

## 南白亀川堤防ウォーキングロードに防犯灯を

**議員** 町は南白亀川堤防をウォーキングロードに指定しましたが、暗くて危険なので防犯灯設置を望む声もあります。考えを伺います。

また、健康づくり教室の開催により、成果が出てきたといわれています。現状と今後の見通しについて伺います。

## 防犯灯整備する

**町長** 堤防の草刈りは実施していますが、防犯灯も整備していきたいと考えています。

健康づくりは運動教室を実施しており、継続しているグループと途中退会したグループとの医療費の比較では、一人当たり約九万円の差が見られたので効果は大きいと思います。今後も参加者を増やし、医療費の削減につながら、健康が守られ国保税の値下げになるよう取り組みを進めます。



南白亀川ウォーキングロード

## 介護保険料第五期の見通しは

**議員** 介護保険料は、制度創設以来上がり続け、現在の月額平均は、三千七百五十円です。

来年度からの第五期事業計画での保険料の見通しを伺います。

## 十四・七%上昇予定(五百五十円)

**町長** 第五期は、現在より五百五十円、十四・七%の上昇になります。準備基金が六千三百万円あるので、六千万円繰り入れし、保険料の抑制に努めたいと思っています。

## 防災への予算化どのように

具体的には、四百五十万円ほどにあたります。

**議員** 災害対策の基本は災害から住民の命と暮らしを守ることです。東日本大震災以後、町でも多くの問題を指摘されていますが、来年度はどのように予算化するのか伺います。

## 充実させる

**町長** 防災備蓄は充実させ、砂丘の再整備、南白亀川の護岸はかさ上げを含めて要望しています。避難所は小学校等の外階段を設置します。



白濁小学校避難階段(予定場所)

## 次世代育成支援対策及び放課後児童クラブ（学童保育）について

東海林東治議員

**議員** 次世代育成支援対策及び放課後児童クラブ対策で、町長の施政方針の中に重点施策として若者の定住化促進を図ることです。

若者の定住化は、まさに子育て支援が最たる対策であると思います。世代を担う子供が健やかに生まれ、育成される環境整備をどのように行うか伺います。

### 若者の定住化に つながれば

**町長** 次世代育成支援対策について、郡市、七市町村合同で地域協議会を設置し、平成二十二年度から二十六年度を後期計画として策定済みです。

それに伴う運営をしています。若者の定住につながればと思っています。

### なのはなキッズ の現状は

**議員** なのはなキッズの現状については、定員オーバーにより支障をきたす場合、改善するために他の施設、余裕教室を転用する必要があると思いますが、どのように対応するのかお伺いします。

### 最善策を講じる

**町長** なのはなキッズの現状は、旧JA長生白潟支所を使用しております。白潟支所を中心に町内三



学童保育の様子

小学校の子供を受け入れております。利用者は白潟小から二十三名、関小から五名、南白亀小から二名の合計三十名の受け入れと伺っております。通常は、下校時から六時まで、また土日、夏休みは七時半から夕方の六時ということで対応しております。

二十四年度は四十名を越えるというような報告を受けておりますので、町としても何らかの策を講じていけるよう計ります。

## 運営方法は

**議員** 運営形態、設置者、運営責任者が今現在保護者主体だと思えます。

共働きの家庭では、子供の入退所の手続、月々の納入金、指導員の支払い、さらには南白亀小と関小の二校の学校より子供たちの送迎料金の支払い等々、大変だと思えます。

長生郡内の町村では、行政の管外窓口で入退所手続を行い、支払い、運営そのものを社会福祉協議会に委託していますが、町ではどのようにしているか伺います。

### 白子方式で

**町長** 運営方法については、白子の場合は、民設民営の形で運営されており、現状は白潟支所



なのはなキッズクラブ

の借用ですが、町がその建物の賃貸料と光熱費の負担をしています。

自分たちの子供を自分たちで育てるという理念に基づいていますので、町のやり方は、私は適切な方法であると思っていますし、これはいろいろな形で子育てを支援するという基礎になると考えております。いわゆる白子方式であると思えます。

# 各常任委員会構成決まる



委員  
齊藤 豊彦



委員  
大多和 正之



委員  
三橋 昌好



副委員長  
梅澤 哲夫



委員長  
河野 豊

総務常任委員会  
委員(五人)



委員  
北田 頼光



委員  
大多和 秀一



委員  
市川 隆子



副委員長  
東海林 東治



委員長  
今関 勝巳

厚生文教常任委  
員会委員(五人)



委員  
板倉 正道



委員  
今井 信夫



副委員長  
宗島 理仁



委員長  
酒井 良信

産業建設常任委  
員会委員(四人)

今関 勝巳

千葉県後期高齢者医  
療広域連合議会議員

北田 頼光

一宮聖苑組合議会議員

三橋 昌好  
今井 信夫

長生郡市広域市町村  
圏組合議会議員

委員長 齊藤 豊彦  
副委員長 今関 勝巳  
委員 河野 豊  
委員 大多和 秀一  
委員 板倉 正道  
委員 酒井 良信

議会運営委員会

委員長 酒井 良信  
副委員長 梅澤 哲夫  
委員 市川 隆子  
委員 北田 頼光  
委員 大多和 正之  
委員 板倉 正道  
委員 齊藤 豊彦  
委員 今関 勝巳  
委員 宗島 理仁

議会広報編集委員会

委員 齊藤 豊彦

白子町公害対策審議会

板倉 正道

監査委員

# 平成23年度第4回一般会計 補正予算質疑応答概要

## 指定管理者の 指定について

【大多和正之議員】

議員 白子荘・アクアセンターの指定管理者二十四年一月から五年間再契約しますが、アクアセンターを閉館の状態では指定管理にすると、五年間ずっと閉館した状態です。ボイラーの故障なので、夏にプールとして観光客が利用できないか伺います。



アクアセンター

町長 前回の指定管理以降、ボイラーの故障で休館をやむなくなった訳ですが、その後、色々な話

もありましたが、実際施設まで見学に来る者がいませんでしたので、現状のままと考えています。再利用する方の希望があれば再協議をします。そうでなければ解体の方向もひとつの選択肢と考えます。

【河野豊議員】

議員 指定管理者の指定経緯について伺います。



休養施設白子荘

町長 公募等により受付し二社の会社が説明会に出席されたが、最終的にカネイ産業一社となり、指定管理者選定委員会においてカネイ産業を指定しました。

## 子供医療給付 費について

【大多和秀一議員】

議員 白子町では千葉県に準じたかたちで、小学校三年生までの医療費の無料化が施されていますが、今回補正が組まれた理由と内容について伺います。

保健福祉課長 平成二十三年度四月より、毎月請求があります。利用者の納付を給付しています。一ヶ月当たり百二十九万円の予算で執行しました。今年度は給付額の増が見込める事から、今議会で五百五十二万円の追加補正をいたします。



健康で元気に遊ぶ子ども

## 編集後記

町議会の改選により、広報委員も新メンバーになり全委員協力して編集にあたります。

昨年の東日本大震災、福島原子力発電の事故など困難な災害が発生しました。政府の素早い指導により復興、復旧を求めます。原発による風評被害は漁業、農業、観光などあらゆる分野で発生し東京電力による補償がようやく始まっています。白子町は地震による津波の被害は最小限にとどまりましたが、さまざまな問題も残りました。想定外の津波が来ると、南白亀川の欠損により町全体が壊滅状態になります。海岸の砂防堤や、南白亀川の防波堤の高上など、行政、議会は一体となって白子町民の生命、財産を守らなければならないと常に心がけます。

(酒井良信)